

生徒にとって有益で持続可能な下呂市部活動

下呂市教育委員会 学校教育課

1 下呂市の部活動を取り巻く環境

下呂市の部活動への参加は希望制をとっていますが、今年度も参加率は90%を超えています。生徒も保護者も地域も、部活動に大変高い関心を示している地域です。

そんな部活動に大きな波が押し寄せ、校長会で令和2年より検討が始まりました。ちょうどその年に文科省からも部活動の地域移行への話が湧いてきたと思います。下呂市においては、少子化の波により、12年間（平成21年から）で生徒数が1101人から764人となり、337人減少しました。それに伴い7校あった中学校は6校になり、教職員も26人減りました。そんな中、下記のような問題が発生していました。

生徒にとって

- ・人数が少なく、成り立たない部活動がある。
- ・試合形式の練習等に支障をきたす場合がある。
- ・切磋琢磨できる関係が築きにくい。
- ・専門的な指導が受けられない場合がある。
- ・小規模校では、部活動の選択肢が少ない。

教職員にとって

- ・常に部活動の削減を求められるが行き詰まる。
- ・その種目の経験者を配置できない場合が多い。
- ・多くの部活動が一人顧問で休みが取りづらい。
- ・人によってはストレス、多忙感、教材研究の妨げになっている。

2 下呂市の部活動構想

(1) コンセプト

上記のような問題を克服するために、校長会において、今後の下呂市の部活動のコンセプトを打ち出しました。生徒にとって有益で、保護者の負担も少なく、持続可能なものを目指しています。

- 生徒がやりたいことに挑戦できる
- 生徒が専門的な指導を受けられ、競技力などの向上が図れる。
- 生徒の切磋琢磨できる環境が生まれ、社会性が養える。
- 生徒が無理なく、継続できる。(健康面、時間のゆとりなど)
- やりがいをもった指導者が充実感を味わえる。
- 誰もが参加できる。(特に経済面)

(2) 平日と休日の運用

土日祝日は、地域クラブとして、やりがいを感じている教職員と地域の社会人に指導をお願いしています。しかし、地域の実態から、平日も地域の社会人に依頼した場合、活動は主に夜間になるため、本市においては教職員に勤務時間内で行っていただくことになりました。

月 火 水 木 金	土 日 祝日
平日は、勤務時間（16:30）の中で部活動 → 学校で、教職員による指導。 ※地域クラブがない生徒は、他の部活動 またはトレーニング部で活動	休日は、地域クラブ活動 → 拠点校で、 やりがいを感じている小中教職員と 地域の社会人とで指導。
夜はスポーツクラブ（任意）	
部活動のガイドラインに沿った活動 平日：2時間以内4日以内 休日：3時間以内、土日どちらかは休養日	

【日課の見直し】

	月	火	水	木	金
5限13:15~14:05					
6限14:15~15:05					
終活15:10~15:25					
15分掃除					
7限13:15~14:05					
放課後 ~16:30	生徒 会議日	1h35m 部活動		55m 部活動	1h35m 部活動
下校	16:45				

日課を見直し、週3回の部活動の日を確保しています。
火・金曜日は5時間授業として1時間35分、木曜日は55分の部活動の時間を1年を通して確保しています。
水曜日は7時間、行事等の見直しを図り授業時数も確保しています。

また、この日課の変更においては、下校時の通学に使用している路線バスのダイヤ変更について、バス会社と交渉し、スクールバスと併せて全ての中学校で適応できるようにしました。

(3) 地域クラブにかかる補助の継続と充実

誰もが参加できる地域クラブにするために、保護者への経済面の支援を行っています。部活動育成会補助金一人2000円、部活動遠征補助金として中体連主催大会の全額補助、中体連以外の大会でも1回は半額補助、日本体育・学校健康センター災害保険の補助等、今までの部活動への支援と同じ支援を継続します。

また、新たな支援として社会人指導者の謝金と土日祝日の地域クラブにかかる移動費について補助をしています。生徒の移動については、スクールバスと公共交通機関を利用することとし、路線バスかJRを利用した場合の運賃は、市が補助しています。

(4) 現在の土日祝日の地域クラブの状況

合同部活動	野球	バスケ		バレー	剣道	陸上	吹奏楽	テニス	
		男子	女子	男子女子	男女	競技		男子	女子
	南中 北中 小坂中	南中 北中 小坂中	南中 北中 小坂中	南中 北中 下呂中	南中 北中 下呂中 竹原中	南中 小坂中 下呂中 竹原中 金山中 北中	下呂中 金山中	下呂中 金山中	下呂中 金山中
	下呂中 竹原中 金山中	下呂中 竹原中	下呂中 竹原中 金山中	下呂中 竹原中				北中 小坂中	北中 小坂中
単独	バレー		卓球		テニス		バスケ	吹奏楽	美術
	女子		男女		男子	女子	男子		
	南中 小坂中	北中 金山中	南中 下呂中	北中 竹原中	南中	南中	金山中	南中	下呂中

現在、土日祝日に活動する部活動は、51部活動から28部活動に縮小しました。しかし、以前は自校に入りたい部活動がなく選択できなかったのが、合同部活動によって入部できるようになり、新たな可能性を引き出すことができたという報告も受けています。

3 令和6年度の本格的な実施のための取組

いよいよ令和6年度より、土日祝日の活動は、やりがいを感じる教職員と地域の社会人だけの運営になります。来年度は、30人の中学校教職員（全体の27%）と8人の小学校教職員が運営に携わっていただける予定です。地域の社会人指導者も44人となり、指導者確保の目途も立ちました。

次年度に向けては、各地域クラブの運営方法について、各クラブで細かな検討に入っています。そして、今年度課題の課題に挙げた、夏休み等の長期休業中の平日における地域クラブの運営についても、来年度は実施する方向であり、制度設計や今後課題となってくる指導者の資質向上について研修計画を作成中です。

生徒に軸足を置き、持続可能な下呂市の部活動、地域クラブの設立を進めていきたいと思ひます。